

道徳学習指導案

指導者名 岩佐 慶信

- 1 学年 第3学年 3組
- 2 主題名 法やきまりの意義
C - (10) 「遵法精神」
- 3 ねらい 規則の遵守と幼い姉弟への思いやりで葛藤する元さんや佐々木さんの気持ちを考えることを通して、きまりがあることの意味を理解するとともに、きまりを遵守しようとする道徳的心情を高める。
- 4 教材名 「二通の手紙」 (出典:『中学生の道徳 3年 かけがえのないきみだから』学研)

5 主題設定の理由

- 私たちが生活している社会には、必ずきまりがあり、このきまりを守ることによって、社会生活の秩序が保たれている。中学校でも学校生活のきまりとなる校則があり、この校則を意識して生活することを通して、中学校生活の秩序を学ぶ。そうすることで社会の中で生きるということについて自覚が深まり、法やきまりについてその意義を理解することができるようになる。しかし一方では、自分本位の考えを優先してしまい、「少しぐらいなら」という考え方で、きまりを守れない生徒も少なくない。また、多感な思春期ということもあり、きまりは押しつけられるもの、自分たちを縛るものという考えをもち、反発する生徒もいる。2学期には職場体験に出かけ、社会というものを体験するとともに、働く上でたくさんのきまりや約束事があることを知る機会にもなった。そこで法やきまりは、自分たちの生活を守るためにあり、それを遵守することの大切さについて自覚を促すこと、その意義を十分に理解した上で、社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする心情を育てることが重要であると考え、本主題を設定した。

○ <個人情報保護のため省略>

- 本教材は、主人公の元さんの体験を元同僚の佐々木さんが若い職員に語る形で書かれている。主人公の元さんは動物園に勤め、入園係をしている。その動物園に毎日やってきて、入場門の外から中をのぞく姉弟がいる。ある日、元さんは動物園の入園規則(入園時間は午後四時までで、小学生以下は保護者同伴が必要)を十分知りながら、姉弟の懇願に負け、入園を許してしまう。ところが閉園時間になっても姉弟は出てこず、園内は大騒ぎになる。無事に姉弟は発見されるが、元さんの判断のせいで、いろいろな人に迷惑をかける結果となる。この騒動後、元さんは姉弟の母親からお礼の手紙と上司から解雇処分を伝える手紙の二通を受け取ることになる。心情的には元さんの行為に共感できるが、きまりを守らなかったことによりたくさんの人を問題に巻き込み、自らも職場を去る結果となってしまふ。私たちの生活する社会にはたくさんのきまりがあるが、きまりを守らず個人的な感情や目先の都合(利益)で行動すれば、時に社会の秩序を乱し、他者が気持ちよく生活する権利を奪うことになってしまう。二通の手紙と、手紙を前にして元さんの言った言葉の意味を

考えることで、きまりを一人一人が守ることによって、社会の秩序が保たれ、個人の生活や安全が保障されることに気づかせたい。

授業の進め方としては「姉弟を入園させる場面」や「事務所で姉弟の安否確認の連絡を待つ場面」の元さんの気持ちを考え、それをもとに後半の「二通の手紙の場面」での元さんの言葉につなげていきたい。そして、この元さんの言葉をきっかけに佐々木さんの考えが変化し、教材前半の佐々木さんの対応につながることに気付いてほしい。そしてこの対応は、元さんの気持ち（思い）を受け継いでいることにも気付かせたい。そして、授業の最後に「きまりを守ること」で、みんなが安心して気持ちよく生活できるという説話をするので、ねらいとする価値にさらに迫っていけるようにしたい。

6 学習指導過程

	学習活動	発問口及び予想される反応（・）	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今日はきまりについて考えたいと思います ・きまりについてのイメージを聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標（ねらい）を伝える
展	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の範読を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の範読をする。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・資料にある佐々木さんの対応について、意見を言う。 ・動物園から解雇通告を渡された元さんを見た佐々木さんの心情を考える。 ※全体で発言する。 	<p style="text-align: center;"><主題追求課題> きまりについて考えよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">佐々木さんの対応についてどう思う？</div> <ul style="list-style-type: none"> ・厳しい。 ・優しくない。 ・頑固。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">解雇通告を渡された元さんを見た佐々木さんはどんな気持ちだったろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・納得できない。 ・おかしい。 ・動物園の処分は厳しすぎる。 ・母親があんなに喜んでいたので、解雇されるのかわからない。 ・周りに迷惑かけたけど、みんな理解してくれたからいいじゃないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母親からの手紙を踏まえ、元さんが解雇されることに納得できない佐々木さんの心の葛藤を考えさせる。
開	<ul style="list-style-type: none"> ・元さんの言葉聞く前と後で佐々木さんの考えが大きく変わったのはなぜかを考える。 ※冒頭の佐々木さんの行動について触れる。 ※個人 ↓ ※グループ ↓ ※全体 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">元さんの言葉をきっかけに佐々木さんの対応が変わったのはなぜだろう？</div> <ul style="list-style-type: none"> ・厳しい処分だが、来園者の安全を考えれば動物園の処分も仕方ない。 ・園の規則は安全のためにある。 ・今回は何事もなかったけど、もし何かあったら大変なことになっていた。 ・元さんの言葉から気付かされたことを今後自分も意識していきたい。 ・元さんから学んだこと（きまりを学ぶ大切さ）を他の職員（後輩）にも伝えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物園の厳しい処分に対する元さんへの同情ではなく、きまりを守ることが人の権利や安全を守ることにつながることに気付かせる。 ・単にきまりを守る、守らないだけでなく、その理由もあわせて考えさせる。


<p>終末</p>	<p>・教師の話聞き本時の振り返りをす る。</p>		<p>・日常生活にあるさまざまなきまりを守ることが大切であることを話す。</p>
-----------	--------------------------------	--	--

7 評価


規則の順守と幼い姉弟への思いやりで葛藤する元さんや佐々木さんの気持ちを考えることを通して、きまりがあることの意味を理解するとともに、きまりを遵守しようとする気持ちを深めることができたか。

8 板書計画


「主題追求課題」 きまりについて考えよう 『二通の手紙』



- 佐々木さんの対応
 - ・厳しい ・頑固
 - ・優しくない



- 元さんの言葉をきっかけに佐々木さんの対応が変わったのはなぜ？
 - ・厳しい処分だが、来園者の安全を考えれば動物園の処分も仕方ない
 - ・園の規則は安全のためにある
 - ・元さんのやさしさは十分わかるが、事故が起きていたら大変だった
 - ・元さんの経験を後輩に伝えたい
 - ・動物園の規則の意味がよくわかった



- 解雇通告を渡された元さんを見た佐々木さんの気持ち
 - ・納得できない、厳しすぎる
 - ・なぜやめなければいけないのか
 - ・迷惑をかけたけど、みんな理解してくれていた
 - ・厳しすぎる

9 教材分析

主題名	法やきまりの意義	教材名	「二通の手紙」	
ねらい	規則の遵守と幼い姉弟への思いやりで葛藤する元さんや佐々木さんの気持ちを考えることを通して、きまりがあることの意味を理解するとともに、きまりを遵守しようとする道徳的心情を高める。			
主要場面	登場人物の心の動き	道徳的価値等	気付かせたいこと	主な発問
・時間外に入園させてほしいと客に頼まれる。	気持ちは分かるが規則は守るべき。	頑固 厳しい 責任感	・客の気持ちより、園のきまりを優先する。	・佐々木さんの対応をどう思うか。
・姉弟の思いを受け入れ、入園を許可するが、姉弟が戻らず、事務所で見つかるのを待つ。	・大丈夫だろうか心配する。 ・無事にいてほしい。 ・入園させなければよかった。	同情・受け入れ 不安・心配 軽率・後悔 反省 自己嫌悪	・「祈るような気持ち」に着目させ、後悔や心配など様々な思いがあること。	
・姉弟の母親からの手紙と解雇通知を見る。 ※元さんが二通の手紙からはじめて考えさせられたこと。	<母親からの手紙> ・入園させてよかった。 ・子どもたちや母親が喜んでくれてよかった。 <解雇通知> ・みんなに迷惑をかけたので仕方がない。 ・規則は守らないといけない。 ・無責任な行動だった。	嬉しい 感謝 安堵 反省 振り返り 気付き 規範意識	・母親からのお礼の手紙だけをとりえてしまうのではなく、一つ間違えば母親からの手紙の内容は変わっていたこと。 ・私情に流され、規則を守らないことがたくさんの人に迷惑をかけてしまったこと。	・解雇通告を渡された元さんを見た佐々木さんはどんな気持ちだっただろう。
・元さんが「新たな出発」に向けて身の回りの片付けをする。	・大切なことに気づくことができよかった。 ・今回の教訓を生かして新たな気持ちで生活していこう。	納得 理解 前向き 向上心 規範意識	・元さんの前向きな生き方にふれながら、きまりを守ることの意味について考える。	
・元さんの言葉を振り返る中で、佐々木さんが感じたことやその時の思いを後輩に語る。	・厳しい処分だが、そのお陰できまりを守ることに意味に気付くことができた。 ・元さんの出来事を教訓として、後輩にも伝えていきたい。	葛藤 気付き 納得 規範意識 意識の向上 意識の実践化	・佐々木さんは元さんの言葉を振り返る中で、決まりを守ることの大切さを学び、後輩にそのことを伝えていこうという思いをもっていること。	・元さんの言葉をきっかけに佐々木さんの対応が変わったのはなぜだろう。